

# 兵庫県弁護士会取調べの可視化を求める市民集会

## 鎌田慧氏による講演会

# 「なぜ、ウソの自白をするのか 冤罪のつくられかた」

兵庫県弁護士会では取調べの全過程の録画の導入を含む刑事訴訟法改正の一刻も早い実現を目指して、国会や地方議会への働きかけ等、様々な活動を行ってまいりました。

このたび、ルポライターの鎌田慧（かまたさとし）さんをお招きし、取調べの可視化の必要性について考え、実現を訴えるための集会を開催いたします。

鎌田慧さんには、財田川事件や狭山事件を中心に、虚偽自白と冤罪の歴史、そして再審の戦いと取調べの可視化について語っていただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



可視化オールくん

## プログラム

1. 取調べの可視化についての現状報告
2. 講演 「なぜ、ウソの自白をするのか 冤罪のつくられかた」  
ルポライター 鎌田 慧 氏

※講師プロフィールは裏面をご参照ください。

**日 時：平成27年8月22日（土）**

**午後2時～午後4時**

（開場 午後1時30分）

**場 所：兵庫県弁護士会館4階講堂**

（神戸市中央区橘通1-4-3）

※会場へは公共交通機関をご利用下さい

**その他：入場無料 予約不要**



**主催：兵庫県弁護士会 共催：日本弁護士連合会**

**お問い合わせ先：兵庫県弁護士会 TEL：078-341-7061**



## なぜ、ウソの自白をするのか 冤罪のつくられかた

かまたさとし

鎌田 慧

ルポライター

新聞記者・雑誌編集者を経て、フリーのルポライターとして活躍。自ら現場を体験し、当事者の立場からのメッセージを発信する。公害・環境・地域教育・労働問題・刑事事件と冤罪など、社会問題全般に精通。「弱者」の視点から「強者」を告発するルポルタージュには定評がある。

### ■ 職歴・経歴

1938年 青森県弘前市生まれ

高校卒業後、上京してカメラ工場・印刷工場に勤めるが、労働争議でクビとなる。

その後、早稲田大学文学部露文科に進学。

1964年 早稲田大学文学部露文科卒業。卒業後は、新聞・雑誌記者を経てフリーとなる。

1970年 対馬のカドミ中毒問題を扱った『隠された公害』でデビュー。

1989年 森弘太監督と共にビデオマガジン「核の半島・下北」を自主製作。

1990年 第9回新田次郎文学賞『反骨—鈴木東民の生涯』

1991年 第45回毎日出版文化賞『六ヶ所村の記録』

### ■ 著書

『悪政と闘う—原発・沖縄・憲法の現場から』(コールサック社)

『反国家のちから』(七つ森書館)

『ひとり起つ—私の会った反骨の人』(岩波書店)

『橋の上の「殺意」—畠山鈴香はどう裁かれたか』(講談社)

『石をうがっ』(講談社)

『怒りのいまを刻む』(七つ森書館)

『反撃—民意は社会を変える』(共著・かがわ出版)

『さようなら原発の決意』(創森社)

『残夢—大逆事件を生き抜いた坂本清馬の生涯』(講談社) 他多数